

新型コロナウイルスワクチン接種

についてのお知らせ

毛呂山町では町民の皆さんが安心してワクチン接種ができるよう準備を進めており、4月下旬からは80歳以上の人の接種がスタートしています。79歳以下の人は、ワクチンの確保ができしだい、国の示す接種順位などに従い、予診票や接種券などを個別に送付していきます。

問合せ 保健センター ☎294-5511

接種回数

2回 (無料)

接種対象者

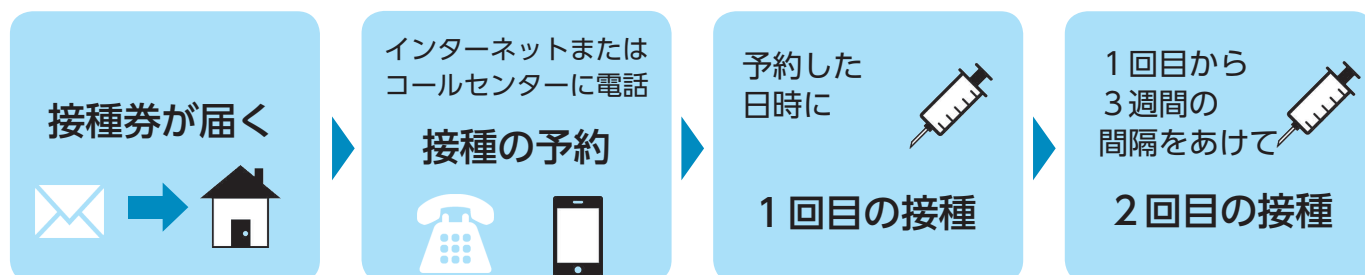
接種する日に
16歳以上の人

集団接種会場

東公民館

※今後の状況によってMORO HAPPINESS館を集団接種会場として開設予定です。

接種までの流れ



- ※2回目の接種は予約不要です。1回目の予約を取ると3週間後の同じ曜日、同じ時間に2回目の接種予約が入ります。
- ※基礎疾患がある人、病気を治療中の人、体調に不安のある人は、事前にかかりつけ医に「新型コロナウイルスワクチン接種を受けて問題がないか」必ず確認してください。相談をしていないと接種を受けられない場合があります。
- ※予診票はクーポン券に2枚同封されています。1回の接種につき1枚の予診票を必ず事前に記入して持参してください。
- ※予約後のキャンセルは速やかにコールセンターへご連絡ください。ホームページからもキャンセルできます。
- ※接種当日は、「クーポン券（予防接種券）1冊」、「予診票1枚」、「本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証など）」を必ずお持ちください。

住所地外で接種する場合

原則、住民票のある市町村でワクチン接種を行うこととなっていますが、住所地外に住んでいる人で下記の場合、事前に届出することで住所地外で接種することができます。

- ・出産のために里帰りしている妊産婦
- ・単身赴任者
- ・遠隔地に下宿する学生 など

※ただし、長期入院・施設入所、基礎疾患のある人で主治医の下での接種が必要な人など、やむを得ない事情がある人は、届出を省略することができます。

クーポン券が届いた人へ

【80歳以上の人】予約についてのお知らせ

80歳以上の人へご案内した日程につきましては、全日程定員に達しました。80歳以上で予約が取れなかった人につきましては、5月12日（水）までに毛呂山町新型コロナワクチンコールセンターまたは保健センターへご連絡をいただければ、新しくワクチンが供給されたときに、優先して接種のご案内を差し上げます。

毛呂山町の新型コロナワクチン接種制度や接種方法・予約に関する相談

毛呂山町新型コロナワクチンコールセンター

☎050-5578-9415（ナビダイヤル）午前9時から午後5時（土日祝日含む）

新型コロナワクチンQ&A

出典：厚生労働省ホームページ

Q これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか？

A. 注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生します（日本の医療従事者の接種では100万回のうち72件）。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。もしアナフィラキシーが起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに治療を行うことになります。

Q 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか？

A. 一般論として、ウイルスは絶えず変異をおこしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。

Q ワクチンを接種することができないのはどのような人ですか？

A. ワクチンを接種することができないのは下記の人ですので、ご自身が当てはまると思われる人は、かかりつけ医にご相談ください。

- ・明らかに発熱（37.5度以上）している人
- ・重い急性疾患にかかっている人
- ・ワクチンの成分（ポリエチレングリコールなど）に対し、重度の過敏症の既往歴のある人
- ・上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

Q 新型コロナワクチンの効果（発症予防、持続期間）はどうなりますか？

A. 現在、国内外で新型コロナワクチンの開発が進められ、新型コロナワクチンの効果や安全性等については確認されているところです。国内で承認されているファイザー社のワクチンでは、ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています（発症予防効果は約95%と報告されています）。

Q 過去にアレルギー反応やアナフィラキシーを起こしたことがあります。接種を受けても大丈夫でしょうか？

A. 食物アレルギーや、アレルギー体質などがあるといった理由だけで、接種を受けられないわけではありません。過去にアレルギー反応やアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予診票にご記入いただくとともに、原因の医薬品等やその時の状況をできるだけ詳しく医師にお伝えください。アレルギーについて医療機関にかかっている場合には、接種の可否について事前に相談してください。

Q 「基礎疾患^{しっかん}を有する者」に当てはまることを証明するために、診断書は必要ですか？

診断書等は必要ありません。予診票に記載していただき、必要があるときは、問診で病気や治療の状況などを確認します。

※周りの人に接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることはやめましょう。